

町政を問う!!

12 議員が質問・提案を

今議会は、新型コロナウイルス対策のため、議会としても予算等の慎重審議を行うと共に、一般質問は質問数の削減や時間短縮に努め、会期を一日早く閉会しました。

後継者対策

免許・資格取得に補助は

制度の構築を県と協議



おくもと てつや 議員

問 第一次産業の後継者育成に積極的に取り組んでいるが、必要になってくるのが免許・資格である。

農業では大型化している農機具に対しての大型特殊免許。漁業では船舶・無線・機関士などの免許。林業でも数多くの免許が必要になってくる。

一つの免許・資格を取得するには多額の費用が掛かり若者には負担が大きいが、補助・助成はできないか問う。

答 今西海洋森林課長

農業については、研究生に研修助成金として毎月定額補助するものがあり研修助成金は研修に必要な教材・視察費生活費等となっている。免許取得もこの中で有効に活用してもらい免許・資格を取得できるものと考える。

漁業については、県漁業就業支援センターの支援として補助制度がある。しかし大型船舶20トン以上のカツオ・マグロに必要な免許については、今のところ制度はない。今後は県漁業就業支援センターの事業の中で大型船舶に関する補助制度ができないか協議を重ね努力していく。

カツオ一本釣り漁業は今年も厳しい経営が続きそうだが、どうにか免許・資格に対する助成はできないか。そして免許の実施開催場所や更新場所のスケジュールを町として把握できないか。

答 今西海洋森林課長

海技士免許取得は尾道講習は高松など遠方に行つて免許を取る。日数も6日から12日と多くの時間と労力が必要になってくる。町としてもカツオ一本釣り漁業に対して危機感も持っていて、ア

ニサキス問題に始まり新型コロナウイルスの影響で、魚の単価が上がらないなど、総合的に県の方でも検討し提案できないか努力していく。

様々な情報が入ってきた場合、漁協を通じて周知、徹底を図っていく。



県内、トップクラスの鰹一本釣り漁船が並ぶ (佐賀漁港)



出漁に向け、勢ぞろいの漁船 (入野漁港)